

平成 22 年度  
(社)日本地すべり学会関東支部総会

議 案 書



平成 22 年 6 月 18 日  
東京大学武田先端知ホール

平成 22 年度  
社団法人日本地すべり学会関東支部  
総 会 次 第

日時:平成 22 年 6 月 18 日(金)( 13:00 ~ 14:00 )  
場所 : 東京大学武田先端知ホール ( 東京都 )

1 . 開 会

2 . 支部長挨拶 ( 群馬大学 鶴飼恵三 教授 )

3 . 議 事

第 1 号議案	平成 21 年度事業報告承認の件	資料 P 1
第 2 号議案	平成 21 年度事業決算承認の件	資料 P 3
第 3 号議案	平成 22 年度事業計画 ( 案 ) 承認の件	資料 P 5
第 4 号議案	平成 22 年度事業予算 ( 案 ) 承認の件	資料 P 7
第 5 号議案	平成 22 年度役員名簿 ( 案 ) 承認の件	資料 P 8

4 . そ の 他

5 . 閉 会

## (第1号議案)

# (社)日本地すべり学会関東支部 平成21年度事業報告

## 1. 会 議

### (1) 総会

平成21年6月5日(金) 場所:東京大学工学部武田先端知ホール  
(正会員数483名のうち,出席者47名,委任状215名)

### (2) 運営委員会

第1回 平成21年5月14日 出席者:9名 (場所 国土防災技術(株)本社会議室)  
第2回 平成22年3月23日 出席者:6名 (場所(社)斜面防災対策技術協会 会議室)

### (3) 幹事会

第1回 平成21年 5月14日 出席者:16名 (場所 国土防災技術(株)本社会議室)  
第2回 平成21年 7月21日 出席者:9名 (場所 国土防災技術(株)本社会議室)  
第3回 平成21年12月14日 出席者:7名 (場所 国土防災技術(株)本社会議室)  
第4回 平成22年 3月23日 出席者:9名 (場所(社)斜面防災対策技術協会 会議室)

## 2. 事 業

### 2.1 シンポジウムおよび現地検討会等

#### (1) 平成21年度(社)日本地すべり学会関東支部 シンポジウム

テーマ:森林と斜面災害 (参加者:100名)

講演:「森林の持つ斜面崩壊防止機能」

日本大学生物資源科学部教授 阿部和時

講演:「森林根系の崩壊防止機能 信州大学農学部治山学研究室の森林根系研究成果より」

信州大学農学部教授 北原 曜

期日:平成21年6月5日(金)

場所:東京大学武田先端知ホール

主催:(社)日本地すべり学会関東支部

後援:(社)地盤工学会関東支部

#### (2) 現地検討会

コース1 「足尾の森林復元を見る」 (参加者:11名)

期日:平成21年10月23日(金)

場所・内容:栃木県日光市足尾町の緑化施工地(国有林)ほかの見学

コース2 「山梨の地すべりを見る」 (参加者:16名)

期日:平成21年10月30日(金)

場所・内容:山梨県西沢地区及び県道山保久那土線災害地の見学,

現地検討会(災害時の対応)

協力:関東森林管理局・山梨県ほか

後援:(社)斜面防災対策技術協会 関東支部

<過年度開催地> 平成 18 年度 群馬県 (10 月), 神奈川県 (11 月)  
平成 19 年度 群馬県 (11 月)  
平成 20 年度 群馬県 (11 月)

### (3) 日中地すべりシンポジウム (甘肅省訪問団との研究交流)

シンポジウム: 「地震を起因とする地すべり発生機構の解明と地震災害の復興」

期日: 平成 21 年 8 月 24 日 (月)

場所: 砂防会館

内容:

甘肅省地すべり・土石流研究会の紹介 (中国鉄道西北科学研究院有限公司 王応先教授)

日本地すべり学会の紹介 (群馬大学 若井明彦准教授)

中国甘肅省と日本地すべり学会の交流に関する回顧と展望

(甘肅省地質自然災害防治研究所 曾思偉顧問)

中国における大型地すべり対策措置の事例

(中国鉄道西北科学研究院有限公司馬惠民研究員)

日本の地すべり - 特徴と研究の取組み (千葉大学名誉教授 古谷尊彦)

最新の地すべり技術 (日本工営 上野雄一)

意見交換会

期日: 平成 21 年 8 月 27 日 (木)

場所: 新潟大学

## 2.2 ニュースレターの発行

年 2 回の発行 (7 月, 3 月)

(第2号議案)

(社)日本地すべり学会関東支部 平成21年度事業決算

平成21年度 日本地すべり学会関東支部決算(案)

会計期間:平成21年4月1日～平成22年3月31日

[収入の部]

(単位:円)

科 目	H21予算額	H21決算額	差額*	摘 要
1.本部助成金	200,000	300,000	100,000	
2.事業収入	610,000	448,000	162,000	
総会・シンポジウム	160,000	199,000	39,000	(2千円*99+1千円*1人)
意見交換会	200,000	155,000	45,000	(5千円*31人)
現地検討会	250,000	94,000	156,000	(3千円*11+4千円*15人+1千円*1人)
3.雑収入	5,000	358	4,642	利息、図書
4.繰越金	988,134	988,134	0	
合 計	1,803,134	1,736,492	66,642	

\*差額 = H21予算額 - H21決算額

[支出の部]

(単位:円)

科 目	H21予算額	H21決算額	差額*	摘 要
1.事業費	1,270,000	616,907	653,093	
総会・シンポジウム	410,000	140,660	269,340	
意見交換会	200,000	174,165	25,835	
現地検討会	260,000	181,582	78,418	
日中地すべりシンポジウム	400,000	120,500	279,500	
2.管理費	533,134	152,386	380,748	
会議費	60,000	5,850	54,150	
通信運搬費	80,000	73,050	6,950	
事務費	70,000	73,486	3,486	支部ヘルメット30個購入費含む
予備費	323,134	0	323,134	繰越金他
合 計	1,803,134	769,293	1,033,841	

\*差額 = H21予算額 - H21決算額

\*繰越金: ¥1,736,492(H21収入) - ¥769,293(H21支出) = ¥967,199

# 平成 21 年度 会計監査報告

(社) 日本地すべり学会関東支部の会計について監査した結果を報告いたします。

平成 22 年 6 月 18 日

会計監査

沖野公俊



向井啓司



記

## 1 監査期間

自 平成 21 年 4 月 1 日

至 平成 22 年 3 月 31 日

## 2 監査対象

(1) 現金出納簿

(2) 預金通帳

(3) 支出証拠書 (領収証等)

## 3 結果

(1) 諸帳簿の記録は適正であり、預金高および現金は出納簿と符合している。

預金残高 ￥ 967,199 -

現金 ￥ 0 -

(2) 予算の執行は適正である。

(第3号議案)

(社)日本地すべり学会関東支部 平成22年度事業計画(案)

1. 会議

(1) 総会

平成22年6月18日(金) 東京大学武田先端知ホール

(2) 運営委員会

第1回 平成22年5月20日 出席者:7名(場所:国土防災技術(株)本社会議室)

第2回 平成23年3月

(3) 幹事会

第1回 平成22年5月20日 出席者:16名(場所:国土防災技術(株)本社会議室)

第2回 平成22年7月

第3回 平成22年12月

第4回 平成23年3月

2. 事業

2.1 シンポジウムおよび現地検討会

(1) 平成22年度(社)日本地すべり学会関東支部 シンポジウム

テーマ:新技術を用いた空(宇宙)からの地すべり地形把握と解析

講演:「SAR 干渉画像と航空レーザ測量データを利用した地表変動の検出」

国土地理院 佐藤 浩

講演:「合成開口レーダによる災害監視の事例」

株式会社パスコ 下村博之

講演:「防災に関わるレーザ計測技術とDEMの活用」

アジア航測株式会社 小野田敏

講演:「2時期のレーザ地形画像マッチングによる地すべり移動量の計測」

国際航業株式会社 向山 栄

期日:平成22年6月18日(金)

場所:東京大学武田先端知ホール

主催:(社)日本地すべり学会関東支部

後援:(社)地盤工学会関東支部

(2) 現地検討会

期日:平成22年7月30日,ほか2回

場所:群馬県内久保地すべり,ほか2箇所

<過年度開催地> 平成18年度 群馬県(10月),神奈川県(11月)

平成19年度 群馬県(11月)

平成20年度 群馬県(11月)

平成21年度 栃木県(10月),山梨県(10月)

(3) 日中地すべりシンポジウム  
内容未定

2.2 ニュースレターの発行  
年2回の発行(7月, 3月)



(第4号議案)

(社)日本地すべり学会関東支部 平成22年度事業予算(案)

平成22年度 日本地すべり学会関東支部予算(案)

会計期間:平成22年4月1日~平成23年3月31日

【収入の部】

(単位:円)

科 目	H21予算額	H22予算額	前年比*	摘 要
1.本部助成金	200,000	300,000	100,000	
2.事業収入	610,000	450,000	160,000	
総会・シンポジウム	160,000	160,000	0	(2千円*80人)
意見交換会	200,000	200,000	0	(5千円*40人)
現地検討会	250,000	90,000	160,000	(2千円*45人)
3.雑収入	5,000	5,000	0	利息、図書
4.繰越金	988,134	967,199	20,935	
合 計	1,803,134	1,722,199	80,935	

\*前年比 = H22予算額 - H21予算額

【支出の部】

(単位:円)

科 目	H21予算額	H22予算額	前年比**	摘 要
1.事業費	1,270,000	1,270,000	0	
総会・シンポジウム	410,000	410,000	0	
意見交換会	200,000	200,000	0	
現地検討会	260,000	400,000	140,000	
日中地すべりシンポジウム	400,000	260,000	140,000	
2.管理費	533,134	452,199	80,935	
会議費	60,000	60,000	0	
通信運搬費	80,000	80,000	0	
事務費	70,000	70,000	0	
予備費	323,134	242,199	80,935	繰越金他
合 計	1,803,134	1,722,199	80,935	

\*前年比 = H22予算額 - H21予算額

(第5号議案)

(社)日本地すべり学会 関東支部  
平成22年度 役員・運営委員・幹事名簿

役職		氏名(担当)	所 属 等
役員	支部長	落合博貴	独立行政法人 森林総合研究所 水土保持研究領域
	副支部長	若井明彦	国立大学法人 群馬大学 大学院 工学研究科
	監事	沖野公俊	群馬県 環境森林部 森林保全課
		向井啓司	(財)砂防・地すべり技術センター 斜面保全部
運営委員		天野一男 後藤 聡 鈴木輝一	国立大学法人 茨城大学 理学部 地球生命環境学科 国立大学法人 山梨大学 大学院 医学工学総合研究部 国立大学法人 埼玉大学 大学院 理工学研究科
		後藤宏二 井口英道 原 義文	国土交通省 関東地方整備局 利根川水系砂防事務所 林野庁 関東森林管理局 治山課 独立行政法人 土木研究所 土砂管理研究グループ
		吉田 隆 牧野平二 小内 薫 伊藤学樹	栃木県 県土整備部 砂防水資源課 群馬県 県土整備部 砂防課 神奈川県 県土整備部 砂防海岸課 山梨県 県土整備部 砂防課
役員	幹事長	山田正雄 (総括)	国土防災技術(株) 技術本部
	副幹事長	関口辰夫 (特別)	国土交通省 国土地理院 地理調査部 防災地理課
		稲垣 裕 (総務)	日本工営(株) 国土保全事業部防災部
幹事		蔡 飛 (企画)	国立大学法人 群馬大学 大学院 工学研究科
		佐藤 剛 (企画)	帝京平成大学 現代ライフ学部 経営マネジメント学科
		執印康裕 (企画)	国立大学法人 宇都宮大学 農学部 森林科学科
		石田孝司 (特別)	独立行政法人 土木研究所 土砂管理研究グループ
		井上敬資 (特別)	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所
		岡本 隆 (特別)	独立行政法人 森林総合研究所 水土保持研究領域
		橋爪力三 (企画)	栃木県 県土整備部 砂防水資源課
		金子 聡 (企画)	群馬県 環境森林部 森林保全課
		崎川 清 (企画)	神奈川県 県土整備部 砂防海岸課
		功刀忠昭 (企画)	山梨県 県土整備部 砂防課
		浦 元啓 (総務)	日本工営(株) 国土保全事業部防災部
		小野田敏 (広報)	アジア航測(株) プロジェクト推進室
		菅野孝美 (企画)	川崎地質(株) 事業本部
		小林 豊 (広報)	日本サーベイ(株)
		今野幸喜 (会計)	国土防災技術(株) 技術本部
		櫻井正明 (企画)	(株)山地防災研究所
		座間俊男 (企画)	(株)ダイヤコンサルタント 関東支社
		西元研二 (企画)	(株)日さく 東日本支社
		藤原民章 (総務)	日本工営(株) 国土保全事業部防災部
		宮本浩二 (広報)	応用地質(株) 東京本社

平成22年度新任

各担当の分掌業務(アンダーラインは主務者)

総務:支部の事務,総会等支部の会議の企画,事務に関する事項

会計:現金・預金等・金銭の出納・保管・銀行印の管理,決算書の作成,その他会計に関する事項

広報:広告宣伝・ニュースレター等,広報活動の計画,実施に関する事項

企画:シンポジウム・現地検討会等支部の事業の計画,実施に関する事項

特別:総会・シンポジウム・現地検討会等の企画,実施に関する事項

## (社) 日本すべり学会 関東支部 運営規程

**第 1 条** (社)日本地すべり学会支部設置規程(以下「支部設置規程」という)第 1 1 条に基づいて、(社)日本地すべり学会関東支部(以下「支部」という)の「運営規程」を定める。

**第 2 条** 支部会員は、関東に在住、居住または、勤務する(社)日本地すべり学会の正会員並びに学生会員をもって構成する。

**第 3 条** 支部に役員(支部長、副支部長、監事)、顧問、運営委員、幹事長、副幹事長、幹事を置く。

顧問	若干名
支部長	1 名(役員)
副支部長	若干名( )
監事	2 名( )
運営委員	若干名
幹事長	1 名
副幹事長	若干名
幹事	若干名

**第 4 条** 支部長、副支部長、監事は、前年度の運営委員会が支部会員のうちから推薦し、総会において承認を得る。

2. 顧問、運営委員、幹事長、副幹事長 及び 幹事は、支部長が委嘱する。
3. 支部長、副支部長、監事の任期は「支部設置規定」に準ずるものとする。
4. 第 3 条の支部長、副支部長、監事 以外の任期は原則 2 年とし、再任は妨げない。

**第 5 条** 支部長、副支部長、監事 及び 運営委員の任務は、「支部設置規程」に準ずるものとする。

2. 顧問は支部の会務に対して助言を与えるものとする。
3. 幹事は支部事業に関する実務を行い、幹事長はこれを総括する。副幹事長は幹事長を補佐する。

**第 6 条** 総会は年 1 回開催するものとする。

2. 年度の初頭時期など、やむを得ない事由により、支部総会の議を経ずに経費支出を行おうとする場合は、支部長による書面での事前決裁をこれに代えるものとする。なお、支部総会において、当該支出に関する遡及的な了承を得なければならない。

**第 7 条** 支部の会議は、総会、役員会、運営委員会 及び 幹事会とする。ただし、役員会には幹事長、副幹事長を含むものとする。

2. 総会、役員会 及び 運営委員会の召集、定足数、議決等は、「(社)日本地すべり学会定款」に準ずるものとする。
3. 幹事会は幹事長が召集し、必要に応じて役員参加を求めることができる。支部運営を円滑に行うため、幹事会に総務、会計、広報、企画の担当を置く。
4. 支部長が必要と認めるときは、委員会を設置することができる。

**第 8 条** 支部の経費は本部助成金、協賛金、寄付金 及び その他の収入をもってあてる。

2. 支部の経費は毎事業年度末付けで学会本部へ報告する。

**第 9 条** 支部の事業年度は、毎年 4 月 1 日より翌年 3 月 3 1 日までとする。

**第 10 条** 別に定める支部表彰規程に基づき表彰を行うことができる。

**第 11 条** この規程を改廃しようとするときには、総会の議決を経なければならない。

**付 則**

1. 本運営規程は、平成 18 年 4 月 28 日から施行する。
2. 第 6 条 2. を平成 19 年 6 月 1 日に改訂する。

## 会場地図

武田先端知ホール（総会及びシンポジウム）

東京都文京区弥生2-11-16 東京大学工学部内 TEL 03-5841-1163

地下鉄南北線「東大前」駅下車 徒歩8分、千代田線「根津」駅下車 徒歩5分

[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_04\\_16\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_16_j.html)

日比谷松本楼（東京大学工学部2号館内）

意見交換会会場 17:30~

